1 学校法人龍谷大学の概要

1 建学の理念

学校法人龍谷大学は、浄土真宗本願寺派を設立母体とし、教育基本法及び学校教育法に従い、浄土真宗の精神に基づく教育を施すことを目的として設立された。本法人は、この目的を達成するために「龍谷大学」と「龍谷大学短期大学部」を設置しており、各学校の学則において、その設置目的を次のとおり定めている。

＜龍谷大学の設置目的　―龍谷大学学則第１条―＞

龍谷大学は、教育基本法及び学校教育法にしたがい、浄土真宗の精神に基づく大学として、広く知識を授けるとともに、深く専門の諸学科を教授研究し、併せて有為の人材を養成することを目的としている。

＜龍谷大学短期大学部の設置目的
―龍谷大学短期大学部学則第１条―＞

龍谷大学短期大学部は、教育基本法並びに学校教育法による短期大学として、浄土真宗の精神に基づき実際に即した専門の教育を施し、併せて有為の人材を養成することを目的としている。

本法人が設置する龍谷大学及び龍谷大学短期大学部では、「浄土真宗の精神」を建学の精神としている。また、浄土真宗の教えは親鸞聖人によって顕かにされたことから、「浄土真宗の精神」は「親鸞聖人の精神」であると理解され、親鸞聖人の生き方を指針として、虚偽に迷うことなく、何が真実であるかを常に見きわめ、自らを律していくことのできる人間を養成することを教育の目的としている。

この建学の精神である浄土真宗の精神（親鸞聖人の精神）は、本学に関わる全ての人に求められるものであり、より多くの人が理解しともに実践できるよう、次の５項目として顕している。

龍谷大学　建学の精神
The Founding Spirit of Ryukoku University

◇ すべてのいのちを大切にする「平等」の精神
Equality － We love and care for all living beings.

◇ 真実を求め真実に生きる「自立」の精神
Independence － We seek Truth and live up to it.

◇ 常にわが身をかえりみる「内省」の精神
Self-reflection － We always reflect upon ourselves.

◇ 生かされていることへの「感謝」の精神
Gratitude － We are grateful to all for supporting our lives.

◇ 人類の対話と共存を願う「平和」の精神
Peace － We wish for peaceful coexistence of all humankind through dialogs.

〈各学舎に設けられている礼拝堂〉

大宮学舎　本館

深草学舎　顕真館

瀬田学舎　樹心館

2 設置学校・所在地

【設置学校】

◆ 龍谷大学

◆ 龍谷大学短期大学部

【所在地】

◆ 深草学舎（所在地：京都市伏見区深草塚本町67）

◆ 大宮学舎（所在地：京都市下京区七条通大宮東入大工町125－１）

◆ 瀬田学舎（所在地：滋賀県大津市瀬田大江町横谷１－５）

【その他の主な施設】

◆ Ryukoku University Berkeley Center（RUBeC：ルーベック）
（所在地：アメリカ合衆国 カリフォルニア州 バークレー）

◆ 東京オフィス　（所在地：東京都千代田区丸の内２丁目２-１　岸本ビルヂング10階）

◆ 大阪梅田キャンパス（所在地：大阪市北区梅田２-２-２　ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14階）

◆ 龍谷大学セミナーハウス「ともいき荘」（所在地：京都市上京区室町通下長者町下ル近衛町38）

◆ 龍谷大学アバンティ響都ホール（所在地：京都市南区東九条西山王町31　アバンティ９階）

◆ 龍谷ミュージアム（所在地：京都市下京区西中筋正面下る丸屋町117）

◆ 南大日グラウンド（所在地：京都市山科区勧修寺南大日）

◆ 艇庫（所在地：滋賀県大津市螢谷743－２）

3 役員・評議員（2011年３月28日現在）

◆ 理 事 長　　橘　正信

◆ 専務理事　　若原道昭

◆ 常務理事　　髙橋篤法／河嶋壽一／西垣泰幸

◆ 理　　事
竹田空尊／光岡理學／中戸康雄／不二川公勝／
小川信正／澤田一精／神子上惠群／三村峯男／
松原功人／前川清成／保利耕輔／桑羽隆慈／
後藤壽邦／赤松徹眞／西本秀樹／佐藤研司／
鈴木龍也／大柳満之／大友信勝／ポーリンケント／
藤原直仁／長野了法

◆ 監　　事
釋　晃／鴛田幸夫／川勝正夫

◆ 評 議 員
大田利生／大前　眞／政岡光宏／高橋　進／
四ツ谷晶二／金子龍太郎／須藤　護／加藤博史／
上　英之／杉村繁一／堤　次男／阪口新太郎／
湯口　博／杉　宣正／荒川林太郎／元井　實／
福井正典／成川和行／岡田　満／園城義孝／
後藤壽邦／那須野浄英／中尾史峰／武田智文／
養藤了文／武田昭英／青地敬水／井浦順爾／
吉野和夫／松永大徳／鈴木恭之　その他の理事

4 沿革

1639年（寛永16）	本願寺派学寮として創設される。
1650年（慶安３）	学寮の制条（学則）を定める。
1655年（明暦元）	幕府の命により学寮を破却、以後東中筋魚棚下ル仮屋の学林で講義を行う。
1695年（元禄８）	東中筋学林町に学林講堂・衆寮を再建する。
1871年（明治４）	学林敷地の上地により、本願寺廓内へ移転する。
1872年（明治５）	はじめて洋学を開講する。
1875年（明治８）	林門改正により学校制度を採用し、普通学を開講する。
1876年（明治９）	本派の学制により大教校となる。
1879年（明治12）	大教校（現大宮学舎本館・南北両黌）落成する。
1885年（明治18）	普通教校（現大宮学舎東黌）開講する。
1888年（明治21）	大学林条例を発表し、考究院・内学院および文学寮の二院一寮制を採用する。
1900年（明治33）	学制を更改し、仏教大学とする。
1905年（明治38）	仏教大学、専門学校令により認可される。
1922年（大正11）	大学令による大学設立の認可をうけ、龍谷大学と改称する。
1949年（昭和24）	新制大学令により新制大学文学部（４年制）として認可される。
1950年（昭和25）	短期大学部仏教科を設置する。
1953年（昭和28）	大学院文学研究科修士課程（真宗学真宗史専攻、仏教学仏教史専攻）を設置する。
1955年（昭和30）	大学院文学研究科博士課程（真宗学真宗史専攻、仏教学仏教史専攻）を設置する。
1960年（昭和35）	親鸞聖人700年大遠忌記念事業として伏見区深草に深草学舎を開設する。
1961年（昭和36）	経済学部経済学科を設置する。
1962年（昭和37）	短期大学部に社会福祉科を増設する。
1963年（昭和38）	経済学部に経営学科を増設する。
1966年（昭和41）	経営学部経営学科を設置する。 大学院文学研究科修士課程と博士課程に真宗学、仏教学、哲学、国史学、東洋史学、国文学各専攻を設置する。（真宗学真宗史、仏教学仏教史各専攻廃止）
1967年（昭和42）	大学院文学研究科修士課程と博士課程に英文学専攻を設置する。
1968年（昭和43）	法学部法律学科を設置する。 文学部社会学科を設置する。
1971年（昭和46）	大学院文学研究科修士課程に社会学・社会福祉学専攻を設置する。
1972年（昭和47）	大学院法学研究科法律学専攻修士課程を設置する。
1974年（昭和49）	大学院法学研究科法律学専攻博士課程を設置する。
1982年（昭和57）	大学院経済学研究科経済学専攻修士課程を設置する。 大学院経営学研究科経営学専攻修士課程を設置する。
1984年（昭和59）	大学院文学研究科社会学・社会福祉学専攻（修士課程）を分離し、博士課程に社会学、社会福祉学各専攻を設置する。
1985年（昭和60）	大学院経済学研究科経済学専攻博士課程を設置する。 大学院経営学研究科経営学専攻博士課程を設置する。 留学生別科を設置する。 短期大学部専攻科仏教専攻を設置する。
1987年（昭和62）	創立350年記念の一環として大津市瀬田大江町字横谷に瀬田学舎を開設する。
1989年（平成元）	理工学部数理情報学科、電子情報学科、機械システム工学科、物質化学科を設置する。 社会学部社会学科、社会福祉学科を設置する。
1991年（平成３）	大学院社会学研究科社会学専攻、社会福祉学専攻（修士課程・博士課程）を設置する。 瀬田学舎にRyukoku Extension Center（REC）を設置する。
1992年（平成４）	文学部仏教学科真宗学専攻、文学科国文学専攻、文学科英文学専攻を真宗学科、日本語日本文学科、英語英米文学科に改組する。 法学部政治学科を設置する。 短期大学部専攻科福祉専攻を設置する。
1993年（平成５）	大学院理工学研究科数理情報学専攻、電子情報学専攻、機械システム工学専攻、物質化学専攻（修士課程）を設置する。
1994年（平成６）	大学院文学研究科教育学専攻（修士課程）を設置する。
1995年（平成７）	大学院理工学研究科数理情報学専攻、電子情報学専攻、機械システム工学専攻、物質化学専攻（博士課程）を設置する。
1996年（平成８）	国際文化学部国際文化学科を設置する。 大学院文学研究科国文学専攻を日本語日本文学専攻に、英文学専攻を英語英米文学専攻に名称変更する。
1997年（平成９）	文学部、経済学部、経営学部に昼間主・夜間主コースを開設する。
1998年（平成10）	社会学部地域福祉学科、臨床福祉学科を設置する。
2000年（平成12）	大学院国際文化学研究科国際文化学専攻（修士課程）を設置する。 大学院文学研究科教育学専攻（博士課程）を設置する。
2002年（平成14）	大学院国際文化学研究科国際文化学専攻（博士課程）を設置する。
2003年（平成15）	理工学部情報メディア学科、環境ソリューション工学科を設置する。
2004年（平成16）	社会学部コミュニティマネジメント学科を設置する。
2005年（平成17）	大学院法務研究科（法科大学院）法務専攻を設置する。
2006年（平成18）	経済学部現代経済学科、国際経済学科を設置する。 アメリカ合衆国カリフォルニア州バークレーに海外拠点としてRyukoku University Berkeley Center（RUBeC）を設置する。
2007年（平成19）	大学院理工学研究科情報メディア学専攻、環境ソリューション工学専攻（修士課程）を設置する。
2009年（平成21）	創立370周年を迎える。 大学院実践真宗学研究科実践真宗学専攻（修士課程）を設置する。 大学院理工学研究科情報メディア学専攻、環境ソリューション工学専攻（博士課程）を設置する。
2011年（平成23）	政策学部政策学科、大学院政策学研究科政策学専攻修士課程・博士課程を開設する。 短期大学部こども教育学科を開設。 短期大学部社会福祉科を社会福祉学科に名称変更する。 龍谷ミュージアムを開館する。

5 学部・研究科の目的

学部名	目　　的
文　学　部	建学の精神に基づいて，人文学の知的体系の研究・教授を通じ，現代社会の複雑な変化や諸問題に，自己を見失うことなく積極的・主体的に対応しつつ，社会に貢献できる教養及び専門性を備えた人間を育成することを目的とする。
経　済　学　部	建学の精神に基づいて，経済学が培ってきた基礎的理論や社会の経済的諸現象を論理的に分析する能力を習得し，さらに国際的・地域的な多様性を理解して，課題の発見と解決に努める人間を育成することを目的とする。
経　営　学　部	建学の精神に基づいて，経営学の理論を修得させることに加えて，実践的かつ実学的素養を身につけさせることを教育理念とする。また，激しい時代の変化に対応でき，社会から信頼される経営人を育成することを目的とする。
法　学　部	建学の精神に基づいて，日本国憲法の理念を基礎に，法学と政治学の教育・研究を通じて，広い教養と専門的な知識をもって主体的に行動し，鋭い人権感覚と正義感のもとに自ら発見した問題を社会と連携して解決できる，自立的な市民を育成することを目的とする。
理　工　学　部	建学の精神に基づいて，科学と人間の調和を重視し，理学と工学における基礎から応用にいたるまでの広範な教育・研究を通じて技術の高度化に対し貢献できる高い倫理観を持った科学技術者を育成することを目的とする。
社　会　学　部	建学の精神に基づいて，多様な価値が錯綜する現代において，人が営む共同体である「社会」のあり方を学び，人と人，人と組織や社会との関わり方やそこで発生する諸問題の分析・解決の視点と手法を身につけた人間を育成することを目的とする。
国際文化学部	建学の精神に基づいて，多様化する国際社会の中で，自己の属する文化の理解を基軸として，異文化を受けいれてこれを尊重し，国際的なコミュニケーションのできる能力と人格を備えた人間を育成することを目的とする。
短期大学部	福祉全般にわたる基礎的教養を修得するとともに、専門的知識、実践的能力を身につけた人材を養成することを目的とする。

研究科名	目　　的
文学研究科	建学の精神に基づき，各専攻領域に関わる文献資料・史料に依拠し，確固たる基礎学力を基盤として独創的かつ精緻な研究を継承発展させ，自立して研究活動を行うのに必要な高度な研究能力，又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を培い，学術の振興と文化の発展に寄与することを目的とする。
法学研究科	「真実を求め真実に生きる」という建学の精神と日本国憲法の理念を基礎に，法学・政治学の領域で高度な研究・教育を通じ，世界と地域で活躍し，共生(ともいき)の社会を担う，人権感覚に溢れた研究者及び専門職業人の養成を目的とする。
経済学研究科	世界と地域社会における対話と共生に基づく平和と発展に貢献することを目指して，世界に対する深い理解と創造的な理論構築あるいは応用分析の能力を備えた研究者，高邁な理想と経済学的知識に裏打ちされた高い実践能力を持つ専門職業人等を養成することを目的とする。
経営学研究科	建学の精神をふまえつつ，経営学の高度で専門的な知識を会得するための研究の推進及び応用能力の涵養を通じて，複雑な構造と機能をそなえた現代社会の要請にこたえる専門職業人及び研究者を育成することを目的とする。
社会学研究科	多様な価値が錯綜する現代社会において，社会学・社会福祉学分野への社会的期待が高まる中，建学の精神に基づき，高度の専門性と実践性を兼ね備えたバランスのとれた高度専門職業人，研究者及び教育者としての能力や人材を養成することを目的とする。
理工学研究科	本学の設立基盤である仏教の思想を基礎に置き高度の専門知識を有する科学技術者を育成し，日本の社会に貢献するとともに科学技術をあるべき道に導く指導者を育てることを目的とする。
国際文化学研究科	建学の精神に基づいて，多様化する国際社会を適切に理解し，高度な専門知識をもって国際社会で活躍できる人材を育成するとともに，国際文化学の発展に貢献できる研究者を養成することを目的とする。
法務研究科	法務研究科は，建学の精神に基づく「共生(ともいき)」の理念と「日本国憲法の精神を護り発展させる」という法学教育の理念を実現するため，「理論と実務」を架橋し，専門的能力を着実に育む教育プログラムを提供することにより，多様で複雑な現代社会の諸問題に対して鋭い人権感覚をもって対処する「市民のために働く法律家」を養成することを目的とする。
実践真宗学研究科	本学の建学の精神である浄土真宗の教えに基づき，釈尊の教示した仏教，及び親鸞の宗教を，世界的視野，かつまた地域的視点より実践的に領解し，現代における人間存在の根本問題，並びに社会的存在として惹起する諸問題に，具体的に対応できる宗教的実践者としての能力を養成することを目的とする。

6 教育研究組織

- 大学
  - 大学院
    - 文学研究科
      - （修士課程）真宗学専攻 ― （博士後期課程）真宗学専攻
      - 仏教学専攻 ― 仏教学専攻
      - 哲学専攻 ― 哲学専攻
      - 教育学専攻 ― 教育学専攻
      - 国史学専攻 ― 国史学専攻
      - 東洋史学専攻 ― 東洋史学専攻
      - 日本語日本文学専攻 ― 日本語日本文学専攻
      - 英語英米文学専攻 ― 英語英米文学専攻
    - 法学研究科 ― 法律学専攻 ― 法律学専攻
    - 経済学研究科 ― 経済学専攻 ― 経済学専攻
    - 経営学研究科 ― 経営学専攻 ― 経営学専攻
    - 社会学研究科
      - 社会学専攻 ― 社会学専攻
      - 社会福祉学専攻 ― 社会福祉学専攻
    - 理工学研究科
      - 数理情報学専攻 ― 数理情報学専攻
      - 電子情報学専攻 ― 電子情報学専攻
      - 機械システム工学専攻 ― 機械システム工学専攻
      - 物質化学専攻 ― 物質化学専攻
      - 情報メディア学専攻 ― 情報メディア学専攻
      - 環境ソリューション工学専攻 ― 環境ソリューション工学専攻
    - 国際文化学研究科 ― 国際文化学専攻 ― 国際文化学専攻
    - 実践真宗学研究科 ― 実践真宗学専攻
  - （専門職大学院）
    - 法務研究科 ― （専門職学位課程）法務専攻
  - 学部
    - 文学部
      - 真宗学科
      - 仏教学科
      - 哲学科
        - 哲学専攻
        - 教育学専攻
      - 史学科
        - 国史学専攻
        - 東洋史学専攻
        - 仏教史学専攻
      - 日本語日本文学科
      - 英語英米文学科
    - 経済学部
      - 現代経済学科
      - 国際経済学科
    - 経営学部 ― 経営学科
    - 法学部
      - 法律学科
      - 政治学科
    - 理工学部
      - 数理情報学科
      - 電子情報学科
      - 機械システム工学科
      - 物質化学科
      - 情報メディア学科
      - 環境ソリューション工学科
    - 社会学部
      - 社会学科
      - コミュニティマネジメント学科
      - 地域福祉学科
      - 臨床福祉学科
    - 国際文化学部 ― 国際文化学科
  - 留学生別科
  - 保健管理センター
  - 付属施設
    - 診療所
    - 図書館
    - 研究所（短期大学部を除く）
      - 仏教文化研究所
      - 社会科学研究所
      - 科学技術共同研究センター
      - 国際社会文化研究所
    - 人間・科学・宗教総合研究センター
    - Ryukoku Extension Center
    - 龍谷ミュージアム
  - 国際センター
  - Ryukoku University Berkeley Center
  - 情報メディアセンター
  - 大学教育開発センター
  - 教職センター
  - ボランティア・NPO活動センター
  - 知的財産センター
  - 矯正・保護総合センター
- 短期大学部
  - 社会福祉科
  - 専攻科 ― 福祉専攻

（注）
①大学学長は、短期大学部学長を兼ねる。
②大学の付属施設の内、診療所、図書館、Ryukoku Extension Center及び龍谷ミュージアムは短期大学部の付属施設を兼ねる。
③大学の保健管理センター、国際センター、Ryukoku University Berkeley Center、情報メディアセンター、大学教育開発センター、教職センター、ボランティア・NPO活動センター、知的財産センター及び矯正・保護総合センターは短期大学部の教学組織を兼ねる。

7 事務組織

- 評議員会
- 理事長 / 理事会
- 監事

専務理事 ― 事務局長 ― 総務局長

- 法人事務室
- 総務部
  - 総務課
  - 人事課
- 財務部
  - 経理課
  - 管理課
- 瀬田事務部
- 創立370周年記念事業事務室

龍谷大学 学長 ― 事務局長 ― 総務局長

副学長　学長補佐

- 学長室
- 東京オフィス
- 大阪オフィス
- 総務部
  - 総務課
  - 人事課
- 財務部
  - 経理課
  - 管理課
- 瀬田事務部
- 内部監査室
- 宗教部
- 入試部
- 学生部
- キャリア開発部
- インターンシップ支援オフィス
- 研究部
- 教学部
- 瀬田教学部
- 教学企画部
- 学部教務課
- 国際センター ― 国際部
- Ryukoku University Berkeley Center ― Ryukoku University Berkeley Center事務部
- 保健管理センター ― 保健管理センター事務部
- 情報メディアセンター ― 情報メディアセンター事務部
- （大学付属）― 図書館 ― 図書館事務部
- （大学付属）― Ryukoku Extension Center ― Ryukoku Extension Center事務部
- 高大連携推進室
- ボランティア・NPO活動センター ― ボランティア・NPO活動センター事務部
- 知的財産センター ― 知的財産センター事務部
- 大学教育開発センター
- 教職センター
- 矯正・保護総合センター ― 矯正・保護総合センター事務部
- （大学付属）― 龍谷ミュージアム ― 龍谷ミュージアム事務部
- 政策学部・政策学研究科設置事務室
- 総合情報化機構
- 文学部
- 経済学部
- 経営学部
- 法学部
- 理工学部
- 社会学部
- 国際文化学部
- 留学生別科
- 文学研究科（博士課程）
- 法学研究科（博士課程）
- 経済学研究科（博士課程）
- 経営学研究科（博士課程）
- 社会学研究科（博士課程）
- 理工学研究科（博士課程）
- 国際文化学研究科（博士課程）
- 実践真宗学研究科（修士課程）
- 法務研究科（専門職学位課程）
- （大学付属）― 仏教文化研究所
- （大学付属）― 社会科学研究所
- （大学付属）― 科学技術共同研究センター
- （大学付属）― 国際社会文化研究所
- （大学付属）― 人間・科学・宗教総合研究センター

龍谷大学短期大学部 学長 ― 事務局長 ― 総務局長

副学長　学長補佐

- 学長室
- 東京オフィス
- 大阪オフィス
- 総務部
  - 総務課
  - 人事課
- 財務部
  - 経理課
  - 管理課
- 内部監査室
- 宗教部
- 入試部
- 学生部
- キャリア開発部
- インターンシップ支援オフィス
- 研究部
- 教学部
- 教学企画部
- 短期大学部教務課
- 国際センター ― 国際部
- Ryukoku University Berkeley Center ― Ryukoku University Berkeley Center事務部
- 保健管理センター ― 保健管理センター事務部
- 情報メディアセンター ― 情報メディアセンター事務部
- （大学付属）― 図書館 ― 図書館事務部
- （大学付属）― Ryukoku Extension Center ― Ryukoku Extension Center事務部
- 高大連携推進室
- ボランティア・NPO活動センター ― ボランティア・NPO活動センター事務部
- 知的財産センター ― 知的財産センター事務部
- 大学教育開発センター
- 教職センター
- 矯正・保護総合センター ― 矯正・保護総合センター事務部
- （大学付属）― 龍谷ミュージアム ― 龍谷ミュージアム事務部
- 総合情報化機構
- 短期大学部

〈注〉各学部（短期大学部以外）、留学生別科、各研究科、各研究所、各研究センター、各学部教務課（短期大学部以外）、瀬田事務部、瀬田教学部、政策学部・政策学研究科設置事務室を除く全ての組織は、龍谷大学短期大学部の組織を兼ねている。

8 学部・研究科等の学生数

（単位：人）

＜学部＞

学部	学科	2010年度 入学定員	2010年度 収容定員	2010年度 在籍学生
文学部	真宗学科	139	582	690
	仏教学科	113	468	546
	哲学科	163	666	834
	史学科	207	846	995
	日本語日本文学科	94	384	467
	英語英米文学科	94	384	449
計		810	3,330	3,981
経済学部	経済学科	—	—	41
	現代経済学科	300	1,214	1,448
	国際経済学科	200	810	859
計		500	2,024	2,348
経営学部	経営学科	445	1,790	2,232
計		445	1,790	2,232
法学部	法律学科	340	1,370	1,549
	政治学科	110	446	543
計		450	1,816	2,092
理工学部	数理情報学科	82	332	416
	電子情報学科	82	332	376
	機械システム工学科	90	364	384
	物質化学科	82	332	386
	情報メディア学科	82	328	401
	環境ソリューション工学科	82	328	387
計		500	2,016	2,350
社会学部	社会学科	165	680	864
	コミュニティマネジメント学科	100	420	499
	地域福祉学科	125	540	595
	臨床福祉学科	120	520	600
計		510	2,160	2,558
国際文化学部	国際文化学科	420	1,740	1,986
計		420	1,740	1,986
合計		3,635	14,876	17.547

＜短期大学部＞

短期大学部	社会福祉科	242	484	561
計		242	484	561
専攻科	福祉専攻	—	—	1

＜留学生別科＞

留学生別科		40	40	41

＜大学院＞

研究科	専攻	2010年度 入学定員 修士課程	入学定員 博士課程	収容定員 修士課程	収容定員 博士課程	在籍学生 修士課程	在籍学生 博士課程
文学研究科	真宗学専攻	20	5	40	15	43	21
	仏教学専攻	20	5	40	15	34	14
	哲学専攻	7	2	14	6	10	0
	教育学専攻	7	3	14	9	28	6
	国史学専攻	7	2	14	6	28	8
	東洋史学専攻	7	2	14	6	16	16
	日本語日本文学専攻	7	2	14	6	13	11
	英語英米文学専攻	7	2	14	6	3	2
計		82	23	164	69	175	78
法学研究科	法律学専攻	25	5	50	15	65	15
計		25	5	50	15	65	15
経済学研究科	経済学専攻	30	3	60	9	34	6
計		30	3	60	9	34	6
経営学研究科	経営学専攻	30	3	60	9	48	2
計		30	3	60	9	48	2
理工学研究科	数理情報学専攻	25	3	50	9	30	0
	電子情報学専攻	25	3	50	9	34	2
	機械システム工学専攻	25	3	50	9	41	0
	物質化学専攻	25	3	50	9	58	3
	情報メディア学専攻	20	2	40	6	44	1
	環境ソリューション工学専攻	20	2	40	6	33	3
計		140	16	280	48	240	9
社会学研究科	社会学専攻	10	3	20	9	16	5
	社会福祉学専攻	10	3	20	9	22	10
計		20	6	40	18	38	15
国際文化学研究科	国際文化学専攻	15	4	30	12	26	8
計		15	4	30	12	26	8
実践真宗学研究科	実践真宗学専攻	30	—	60	—	54	—
計		30	0	60	0	54	0
合計		372	60	744	180	680	133

＜大学院（専門職学位課程）＞

研究科	専攻	2010年度 入学定員 専門職学位課程	入学定員 収容定員 専門職学位課程	在籍学生 専門職学位課程
法務研究科	法務専攻	30	150	99
計		30	150	99

（2010年５月１日現在）

9 教育職員数

学　部　等	教　授	准教授	講　師	助　教	助　手	実験実習 講師・助手	合　計
文学部	75	12	10	0	0	1	98
経済学部	30	10	7	0	0	0	47
経営学部	28	14	2	0	0	0	44
法学部	39	11	1	0	0	0	51
理工学部	52	16	12	12	1	16	109
社会学部	39	19	4	0	1	4	67
国際文化学部	20	15	0	0	0	0	35
短期大学部	7	8	6	1	1	0	23
法務研究科	21	2	0	0	0	0	23
付置研究所	3	0	0	0	0	0	3
保健管理センター	1	0	0	0	0	0	1
龍谷ミュージアム	1	0	2	0	0	0	3
合計	316	107	44	13	3	21	504

（2010年５月１日現在）

10 事務職員・嘱託職員数

区　分	人　数
事務員	236
医務員	4
専任計	240
事務系嘱託	129
技能系嘱託	35
嘱託医師	9
RECフェロー	3
嘱託計	176
合計	416

（2010年５月１日現在）